

ひびみつけカンタン3ステップ

しかも
正確!

ご利用の流れと各工程のポイントをご紹介します。

利用場所

ひびみつけはこんな場所で使用します。



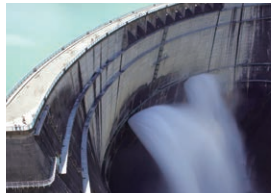
ボックスカルバート



橋梁(床版・橋脚)



トンネル



ダム・水路



防波堤(湾岸施設)



建造物

※コンクリート打ちっばなし表面に限りです。

利用シーン

シーンに合わせて
2つの検出パターン!

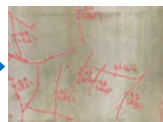
チョーク検出

定期点検 デジタルカメラでお手軽に!

コンクリートに描いたチョークラインを検出し、現場でのスケッチング作業を短縮します。主に定期点検で活用。



検出前



チョーク検出結果

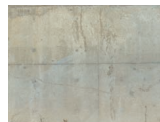


CAD図

ひびわれ検出

補修設計・補修前点検他 一眼レフでしっかり撮影!

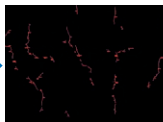
コンクリートのひびわれを直接検出します。チョーキングを必要としない補修設計や補修前点検、施工後検査で活用。



検出前



ひびわれ検出結果



CAD図

STEP 1

対象物を分割して撮影

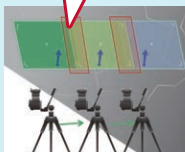
1ショットで撮影できる範囲はカメラの画素数によって変動します。

※弊社「ひびみつけ」webサイトより、「使い方」→「写真の撮り方」をご確認ください。

振り角度は目安として20度以内。(チョークの場合は30度まで可)



隣接する画像間を重複させて撮影。



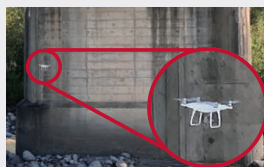
撮影

撮影方法

さまざまな撮影手段に対応!

各ユーザー様の撮影システムと連携も可能。まずはご相談ください。

デジタル
カメラ



ドローン

基本的にはユーザー様にて現場(対象物)の画像を撮影していただきます。撮影手段はさまざまですが、シーンによって効率的な撮影方法をご提案・サポートさせていただきます。お気軽にご相談ください。

「大量画像合成」技術

- 合成結果を現場で確認して、撮影漏れを防ぎます。
- 重複した画像を省いて合成に必要な画像のみを抽出します。



ドローン撮影の場合、1,000枚の画像が300枚に!

※重複率70%で連続撮影した場合の一例です。

STEP 2

撮影した画像を持ち帰ってフォルダに保存



ひびみつけを立ち上げてフォルダごとアップロード



保存したフォルダを選択します。

保存したフォルダを選択し、「画像アップロード」ボタンを押すだけで処理が開始されます。



画像アップロードへ

- クラウドサーバで画像合成とひびわれ解析が実行されています。
- 同時に複数のフォルダをアップロードすることができます。また、処理時間は画像枚数や損傷状況によって異なります。

入力(アップロード・編集)

便利な編集機能

※必要に応じてご利用ください。

ひび幅別の分類機能

検出したひびを幅別に三段階に分類・色分け。



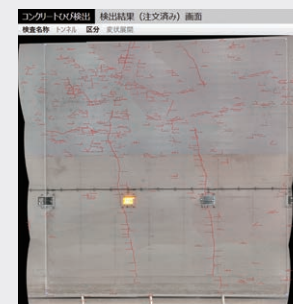
ひび連結機能

小間切れになっているひびわれ線を強制的に連結。(連結する距離も調整可)



変状展開図作成機能

トンネルの曲面を自動補正して合成し、展開図を作成。



STEP 3

処理が完了したら
プレビュー画面で
確認して出力



※確認画面までは、費用は発生いたしません。

データ出力

便利な出力機能



積算

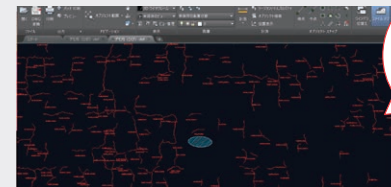
検出した全てのひび幅・長さを自動集計。補修設計の見積作成に効果的!

ひびわれ番号	ひびわれの幅(表面)(mm)	ひびわれの長さ(mm)
1	0.13	113.84
2	0.15	9.98
3	0.19	652.96
4	0.18	404.3
5	0.18	132.69
6	0.4	36.29
7	0.21	320.87
8	0.14	80.53
9	0.14	29.38
10	0.15	165.56
11	0.18	29.89
12	0.17	247.46
13	0.16	30.61
14	0.26	331.38
15	0.23	673.77
16	0.25	98.76
17	0.13	178.56
18	0.18	354.25
19	0.13	205.67
20	0.38	1204.9



DXF

DXFデータで出力し、CAD画面に張り付けるだけで損傷図の作成時間が大幅に短縮!



反転出力も
選択
できます!



合成画像

合成画像をJPEG出力。画像を切り貼りする作業が不要!

